

令和7(2025)年度 一般選抜A日程(令和7年2月3日実施分)「国語」出題意図

大問 $\square$ * 評論・論説文の読解能力を問う。(大野晋『日本語練習帳』)

問一 文節の係り受けの問題である。連用修飾語を、被修飾語の直前に近づけながら文章を読み取る習慣の定着度を問う。

問二 二字熟語の「上の漢字」と「下の漢字」それぞれと同じ漢字が使用されている別の熟語を選択する問題である。(1)は、受験生が苦手とする「由」を含む熟語を出題することで、日ごろの地道な漢字学習の成果を問う。

問三・問五 傍線部分の趣旨を指定の字数以内で説明する記述問題である。問三は、韓国においてはどのような場面で漢字を使用するかを、日本と対比しながら要領よくまとめあげる力を問う。一方、問五は、傍線部内にある指示語の指示内容が正確に把握できているかどうかのポイントとなり、記述問題でありながらも、基礎的な文章読解力を確認する問題となっている。

問四 傍線部分の説明として最も適切なものを選択する問題である。最後に残る2つの選択肢の違いを吟味しきる力の有無を問う。

大問 $\square$ * 小説・随想文の読解能力を問う。(寺山修司『美人スター 山本富士子』)

問一 傍線部分の説明として最も適切なものを選択する問題である。「イメージ」というキーワードを最も適切に説明している選択肢を選びうるかどうかを問う。

問二・問三 語句及び漢字の問題。意味を問う場合でも、対象語句を漢語中心とし、漢字学習へのより積極的な取組を問う。

問四・問五 傍線部分の趣旨を説明する記述問題である。特に問四は、「盲点」の文脈的意味をどう文章化するかを問う。

大問 $\square$ * 慣用句・諺・四字熟語等の意味・用法を問う。

問一 当該の意味を持つ語句または慣用句を選択する問題である。(2)は「弾」の“訓以外の意味”を問うており、語彙学習の質量を確認するものである。

問二 諺の一部分の漢字表記を問う。(3)は一転して和語に関する問。日常的に接する語句への関心度を深め、語彙力をより高くしていこうとする意欲に富んだ学習姿勢が確立しているかを問う。

問三 漢字学習の要となる四字熟語のいずれか一漢字を補充する問題である。(1)は小学校レベルの語彙ではありながら、ある程度の年齢にならないと意味の奥行きにアプローチできない四字熟語である。「耕」や「読」という漢字の、“意味ではなく象徴性”にも学習上の配慮が求められている。